

緑化から農業まで電磁弁を自動操作『遠隔の灌水管理・制御』

■課題

日本の農業は、農業者の高齢化等を原因に深刻な人手不足に悩まされ、農業人口の減少と高齢化が同時進行している状況といわれています。

このような社会課題に国や農林水産省では、日本農業を救出するための施策として、スマート農業の普及を推進しています。

■概要・期待効果

圃場に行くことなく遠隔地から灌水予約ができ、「いつ」「どこで」「どのくらい」灌水したかの記録や管理も行える。専用の電磁弁と接続するだけで、大がかりな設置工事也不要とする。圃場に行く移動時間および灌水作業にかかる労力の削減につながる。

